

【2025 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
福祉心理学基盤演習Ⅱ		必修	1	1	後期 (集中)
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
鈴木 真吾	B309	shsuzuki	水曜日 12:10~13:00		
授業の目的・概要	<p><目的>本演習は再履修者専用のクラスである。「福祉心理学基盤演習Ⅰ」の内容を踏まえ、「福祉心理学基盤演習Ⅱ」を再履修するにあたり、社会福祉学及び心理学の理論や知識を基盤としたライフスタイルやキャリアデザインの基礎を改めて学び直し、自己分析を深めることを目的とする。</p> <p><概要>自己分析を活かして社会との良い関わりを発見できる調査・分析を体験させ、その成果発表や討論を通して、社会的存在としての自分を意識して、自分のライフスタイルやキャリアデザインに係る理解を着実にするための演習を改めて行う。</p>				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input checked="" type="checkbox"/> ディスカッション・デベート <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input checked="" type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学习) <input type="checkbox"/> その他 ()				
学習上の助言	再履修者専用のクラスである。前年度に単位取得できなかった事由をよく認識・自戒して臨むこと。				
教科書	教科書は指定しない。必要に応じて資料を配布する。				
参考書	適宜紹介する。				
外部教材	なし				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	社会福祉学及び心理学における自己理解の理論・知識を理解して、説明できる。		HSU (1) (5) HC (4) (6)		
②	自己分析に基づいたライフスタイルを思案でき、進路摸索に活かすことができる。		HSU (3) (6) HC (2) (3) (4)		
③	社会的存在としての自己理解を深め、キャリアデザインについて思案できる。		HSU (3) (6) HC (2) (3) (4)		
④					
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	オリエンテーション ライフスタイル:「人生」設計を深く見つめ直し、自己と社会とのつながりを心理学の知見に基づき、体験的に学ぶ。	講義・演習	配布資料、心理検査をもとに体験を振り返り、整理を行う。	2	
2		講義・演習		2	
3		講義・演習		3	
4		講義・演習		3	
5	キャリアデザイン:「キャリア」心理学の知見を踏まえて、自己と職業人生とのつながりを体験的に学ぶ。	講義・演習	配布資料、心理検査をもとに体験を振り返り、整理を行う。	4	
6		講義・演習		4	
7	自己分析のまとめ:「人生」「キャリア」に関する理解を深めて、自らがどのような職業でライフスタイルを築いていくことを望んでいるか、整理統合してまとめる。	講義・演習	第1回~第6回の学びを土台として、自己分析の報告書を作成する。	6	
8		講義・演習		6	
試					

【2025 年度/専門科目領域/専門科目群/人間コミュニケーション学科】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		0	40	30	0	30	
総合力指標	知識・技術力	0	15	0	0	0	15
	思考・推論・創造する力	0	10	10	0	0	20
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	5	10	0	0	15
	コミュニケーション力	0	5	0	0	10	15
	取組みの姿勢・意欲	0	5	5	0	20	30
	問題を発見・解決する力	0	0	5	0	0	5
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①	✓	「ライフスタイル」「キャリアデザイン」をテーマとしたレポート課題を課す。提示意図に沿った内容を記述できているか、課題テーマに応じた思考及び考察ができているか、相手に伝わる表現ができているかについて評価を行う。各 20 点× 2 = 40 点の配点とする。				提出したレポートにコメントを付して返却する。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
成果発表	①	✓	「自己分析のまとめ」に関して、的確に自己分析の内容を理解し、相手にとっても適切で分かりやすく整理統合できているかなど、報告書の質に関して評価する。30 点配点とする。				報告書を基に講評及び学生指導を行う。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	各授業において実施する体験ワークや心理検査への取り組みや課題の提出状況に基づいて評価する。				ワークや課題にコメントを付して返却する。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
	⑥						
備 考							
他 担 当 教 員	なし						
教員の実務経験	本科目の担当講師は、臨床心理士 and/or 公認心理師資格を有し、心理相談業務の経験がある。						
実践的授業の内容	心理相談業務の経験を通して、キャリア心理学に基づく自己分析の手法、心理査定法による本格的な心理検査を活用して、自らに誠実・正直な自己及びコミュニケーション様式を摸索できるよう学生を促す。						
そ の 他	Microsoft Teams を用いて諸事の連絡を行うので確認を怠らないこと。 全 8 回、集中開講の構成である。再履修者専用のクラスにつき、該当の受講生のみ履修することができる。再履修という性質上、原則、欠席は認めない。単位取得の確固たる意志を有して受講すること。 大学が公表している感染対策及び教員が示す授業方法を遵守すること。従わない場合は受講を認めない場合がある。なお、今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によって再度シラバスの変更が行われ得る。						